

日本機械学会 関東支部 埼玉ブロック 第4回イブニングセミナー報告書

【開催日時】

2014 年 11 月 13 日(木) 18:00~20:00

【会場】

埼玉大学大宮ソニックシティカレッジ (定員 約 50 名)

〒330-8669 さいたま市桜木町 1-7-5 ソニックシティビル 5F

<http://www.saitama-u.ac.jp/koho/area/satellite/osc-guide.html>

【企画の趣旨】

地域の産学連携を深めるための一案として一昨年度より開始されたセミナーであり、今回は第四回目となる。毎回各分野において第一線で活躍する講師を迎え、時代に即した種々のテーマを取り上げ、定期的で開催する（本年度は一回開催予定）。講演内容は、当該専門家だけではなく、専門領域を超えて多くの方々の参考になるよう配慮する。

【講演題目】

「JR 東日本の新幹線車両の変遷と新幹線高速化への取組み」

【講演概要】

JR 東日本は、東北・山形・秋田・上越・長野の5方面に延びる新幹線ネットワークを保有・運行しており、東北（北海道）新幹線では新函館北斗まで、長野（北陸）新幹線では金沢までの延伸開業が控えている。これらの各路線では、その特性に合わせた新幹線車両が運用されている。今回のセミナーでは、新幹線車両の設計・開発およびメンテナンス業務の経験を有する講師を招き、これまでのJR 東日本の新幹線車両の変遷を振り返りながら、国内最高速度 320 km/h で運行する E5 系、E6 系を設計・製造するために取組んだ高速試験電車「FASTECH360」の開発概要についてご講演頂く。

【講師】

藤野 謙司 様

JR 東日本研究開発センター

先端鉄道システム開発センター 主幹研究員

【参加者数・参加費】

講演会：36名 (参加費：1000円)

懇親会：8名 (参加費：4000円)

【報告と課題】

(報告)

- ・ 内容がタイムリーであったこともあり、過去のセミナーに比べて参加申込者数も多く、非常に盛況であった。(事前キャンセル7名、連絡なしの当日欠席2名、飛び入り1名)
- ・ 今回、受付時にアンケートを配布、終了時に回収することで、ほぼ回収することができた(30枚回収/34枚配布)。

(課題等)

- ・ 今回、36名+講師の参加者で、会場のパーティションを一部外して、適当な会場の大きさであった。会場は40名以上の収容が可能であるが、多い場合は人数制限の検討も必要かと思われる。
- ・ 日本機械学会員と非会員とで、若干の参加費の差があってもよいかと思う。
- ・ 以下にアンケート結果をまとめる。次回の企画・広報に活かす。

イベントを知ったきっかけ：

機械学会インフォメール 17

知人からの紹介 10

埼玉ブロック、チラシ、その他(埼玉県のお知らせ) 各1

今後イブニングセミナーで聴講したい内容：

埼玉県の地場産業について、二足歩行ロボット、機械業界・歴史変遷・技術開発、自動車の最新技術、先端的な加工法(生産技術)、夕方の研究所・工場等の見学会、JR東日本の在来線に関する技術、マイクロバブル発生装置、鉄道関係、トライボロジー関係、蒸気機関車初期導入からの発展の歴史、鉄道・自動車などの輸送機器関連・新規事業への取り組み、製造業の目指す姿・将来性
ニューシャトル、LRT 関連 など



図 イブニングセミナーの様子

(作成者 荒木稚子)